

三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



会長挨拶

三条南ロータリークラブ会長

佐々木常行

本日は、ゲストスピーカーに県議会議員 佐藤卓之様をお迎えしております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。また、三条クラブより加藤紋次郎様、ようこそおいで下さいました。最後までごゆっくりとお過ごし下さい。

今日は、昨日 新潟日報に掲載されていた記事を紹介させていただきます。ご覧になられた方もおいでになると思いますが、それは「初恋が成就する確率」の記事であります。京都に本社を置く総合プライダル企業“ワタベウェディング”が若者を中心に独自に行なった調査です。

それによりますと、初恋が実ったという人は 23.3%、残りの 76.7%は成就しなかったと回答しています。即ち、4 人に 1 人が初恋が成就し、4 人に 3 人がそうでなかった事をこの調査は示しています。

また、初恋の年齢は、6～12 歳が 55.6%で最も多く、13～15 歳は 20.2%、5 歳以下が 18.2%と続き、中学校卒業までに 9 割以上が初恋を経験していると答えています。一方、初恋の相手は、『同級生』が 80.9%でトップ、続く『幼なじみ』の 7.4%、『学校の先輩』の 5.4%に大差をつけています。

今回の調査は、昨年 10～11 月に主に首都圏の 10～20 代の男性 172 人、女性 1,510 人、計 1,682 人を対象に行なった結果です。

時代とともに恋愛や結婚に対する価値観は多様化しています。ただし、初恋は人生で 1 回しか味わえない特別な経験です。成功のハードルは高いですが、思い出は大切にしたいものです。

今週の
俳句

初鏡 仁王立ちして 髭を剃り
紅さして あでやかなりし (征夫) (洋司)

出席率

会員52名中33名

先々週の出席率

92.00% (1/26) ※ 1月の平均出席率 91.00%

ゲスト

新潟県議会議員 佐藤卓之様

ビジター

三条RCより 加藤紋次郎君

先々週のメイクアップ

2/4 三条RCへ 渡辺和宏君(卓話) 坪井正康君

2/7 米山奨学委員長セミナー(新潟)へ

熊倉高志君 野中 悟君

2/8 地区運営会議(新潟)へ 馬場信彦君

四つのテスト

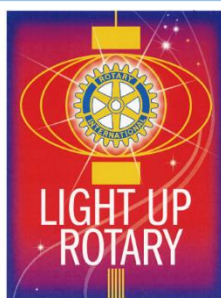
一言行はこれに照らしてからー

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるか どうか



ロータリーに
輝きを

国際ロータリー会長
第2560地区ガバナー
第4分区ガバナー補佐
会長
幹事
S A A

ゲイリーC. K. ホアン[台湾]
佐々木 昌 敏[小千谷]
菊 池 渉[三条]
佐々木 常 行
松 崎 孝 史
馬 場 眞 樹

事務局

〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

松崎孝史 幹事

三条ロータリークラブより「市内4RC合同例会」開催のご案内

日時 2015年 3月11日(水) ※ 南RC 3月9日(月)を振替
 会場 ジオ・ワールド VIP グランドホール
 スケジュール 11:45~12:25 受付、食事
 12:30~ 開会点鐘 会長挨拶(三条RC 高橋会長)
 12:35~13:55 講演
 14:00 閉会点鐘
 講演内容 「佐渡、世界遺産への道」
 新潟県教育庁文化行政課 世界遺産登録推進室 参与 吉田 博 様
 *多くの皆様のご出席をお願いいたします。

三条ロータリーアクトクラブより「長久の家餅つき大会」のご案内

日時 2015年 2月26日(木) 19:30~
 会場 障がい福祉サービス事業所 長久の家 (三条市西本成寺)
 内容 長久の家 寮生との餅つき大会

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

~ 2月9日 11,000円
 今年度累計 478,000円 ~

佐々木君 新潟県議会議員 佐藤卓之様、本日の卓話、よろしくお願いいたします。
 松崎君 佐藤卓之さん、ようこそいらっしやいました。本日はよろしくお願いいたします。
 坪井君 真冬並みの寒さ、吹雪です。皆様 ご自愛下さい。佐藤県議、卓話ご苦労様です。
 野崎君 佐藤県議殿、本日の卓話 ご指導よろしくお願いいたします。

田中君 寒波 襲来! 風邪をひかないよう頑張りましょう。
 丸山(征)君 久し振りに寒~い!!
 滝口君、銅冶君、渡邊(久)君、渡邊(光)君 BOXに協力いたします。
 野中君 BOX担当代理です。BOXにご協力ありがとうございました。

Speech



「県会議員の仕事とは」

新潟県議会議員
 佐藤 卓之様

1. 県会議員の仕事とは

首長と議員の仕事の本質的な違い

・・・「財布とハンコを持たない」議員は何をすべきか? → チェック機関、つなぎ役、役所を動かす
 県政のチェックは当たり前・・・県立病院の薬剤購入費、農政の転換、電気料金 etc.
 つなぎ役としての仕事の重要性・・・「市民、市政と県政をつなぐ」から、民間、公的機関、国政まで。

例：新通川改修、中小企業緊急雇用安定助成金にかかる教育訓練研修会、震災復興基金を活用した集会所と神社の改修、全国産業観光フォーラムの誘致、障害福祉 etc.



2. 基幹病院の今後の課題

場所の選定・・・泉田知事の判断

燕労災病院の引き受け・・・事務的な作業中

運営主体・・・調整中

三条総合病院との統合

基幹病院の特色をどうするか、平成30年代のできるだけ早いうち
・・・実はタイトなスケジュール

3. 私自身これからの10年で何をするのか（これまでの活動に加えて）

地方創生とは、地域にある資源を活かしきること。人を呼び込む、極力減らさない。

その意味で、工場の祭典は重要なコンテンツ。全国に類を見ない産業の集積に加え、下田地域の豊かな自然、石川雲蝶、鳳合戦、良寛さま、カレーラーメン・・・栄スマートICは？燕市をはじめ県央地域との連携は？「つなぐ」活動に加えて提言・提案型の活動：栄スマートICの活用、産業観光教育：あらゆる課題、対策を考え抜くと教育の課題に行き着く。

例：家庭の教育力向上支援、中学2年生週5日の職場体験 etc.

4. 「まとまる」ことと「つながる」ことが「良くなる」ことに結びつく。

例：県央応急診療所と県央基幹病院、新通川改修の成功と県道拡幅の失敗
「安全安心をベースに、頑張っている人たちをつなぐことで応援していく。」

～～～ 県会議員が仕事をする事で、地域は必ずよくなります ～～～

新通川・島田川の今後の取り組み（提言）

■ 新通川

- ① 内水氾濫対策には新通川や排水路からの流量を速やかに流下させる必要があり、このために河床掘削による河道改修を実施すべきである。なお、河道改修の実施については、水生生物等の環境や景観に配慮するように努めるべきである。
- ② 河道改修は、整備計画で定めた1/10年確率^{*1}とし、治水効果を早期に発現できるように推進すべきである。
- ③ 排水路等の改修は1/10年確率規模とされている下水道事業計画に基づき、内水被害の防止・軽減を早期に発現できるように推進すべきである。

■ 島田川

- ① 島田川自体は整備計画1/10年確率の流下能力を有しているが、頻繁に内水被害が発生している輪之内地区排水路から流量を速やかに流下させることを目的に、合流点付近の堆積土砂の除去による局部的な河道改修を実施すべきである。
- ② 排水路等の改修は1/10年確率規模とされている下水道事業計画に基づき、内水被害の防止・軽減を早期に発現できるように推進すべきである。
- ③ 輪之内地区においては、排水路等の改修に貯留施設を併せた対策を推進すべきである。
- ④ 現在の排水路は雨水がたまりやすくCOD値^{*2}が高い傾向があり、悪臭がするとの声もある。河川および排水路の底泥除去等の維持管理を行い、速やかな排水を促すことにより、河川環境の改善を図るべきである。

■ 共 通

- ① 今後の河道改修と排水路・ポンプ改修については、整備進捗の整合性を図る必要があるため、県と市が一体となって協力し、早期に推進すべきである。
- ② 事業の早期事業化と工事の早期完成には官と民の協力が不可欠であり、工事に伴う通行止めや騒音に対して地域住民の理解と協力が必要である。
- ③ 整備計画を大きく上回る内水氾濫に対して、移動式排水ポンプ車の利用、田んぼダムや貯留施設の整備、水防活動の広域的連携等、他のソフト対策の取り組みと一緒に総合的な治水対策を推進すべきである。

■ 要望事項

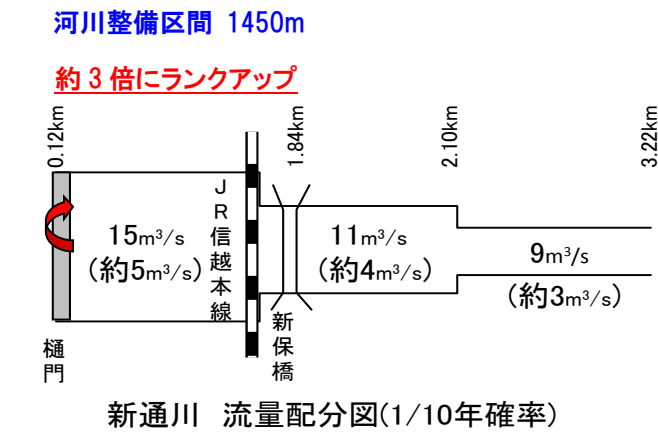
- 島田川の河川整備計画区間においては、整備計画流量を流下することが可能である。しかし、河川整備計画区間よりも上流では流下能力が低い状態にあるので、底泥除去等の維持管理を行って頂きたい。上流も宅地が連担する重要箇所であるので、河川整備計画区間の延伸をして頂きたい。

※1：10年に1回程度発生すると予測される規模の降雨
※2：化学的酸素要求量、主として有機性物質による水質汚濁の指標として用いられる

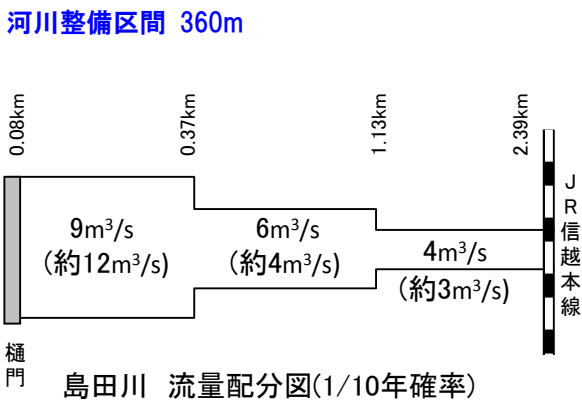
内水対策の方針

新通川、島田川の河川整備計画では1/10年確率の洪水に対して安全に流下できる河道改修を目標としていました。しかし、近年多発する内水被害に対し早急な対応が必要なことから、本検討会では当初、当面1/5年確率を暫定目標とする方針を立て、取り組みを進めてきました。

その最中、この暫定目標を大きく上回る平成23年7月新潟・福島豪雨により、甚大な内水被害に見舞われたため、河道改修及び排水路・排水ポンプの改修や貯留施設等の実施計画規模を暫定目標から1/10年確率にランクアップし、治水効果を早期に発現する対策方針に変更することとしました。

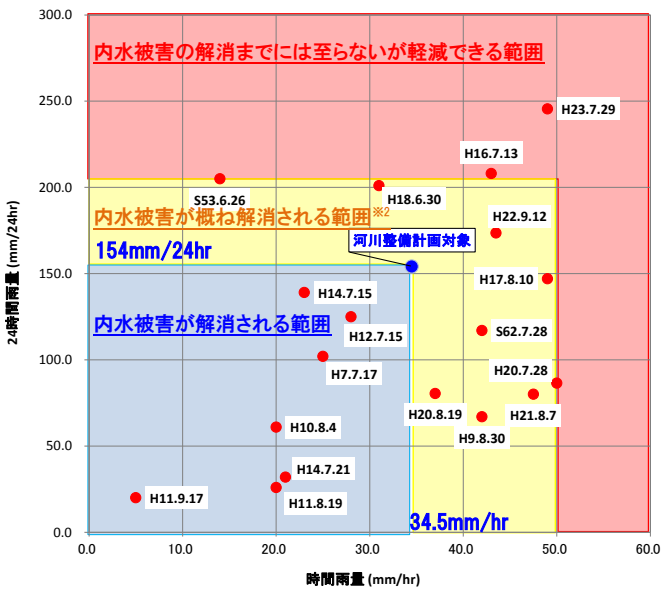


※標記の流量は、三条（気象庁）で観測された実績降雨を基に流出解析したものである。



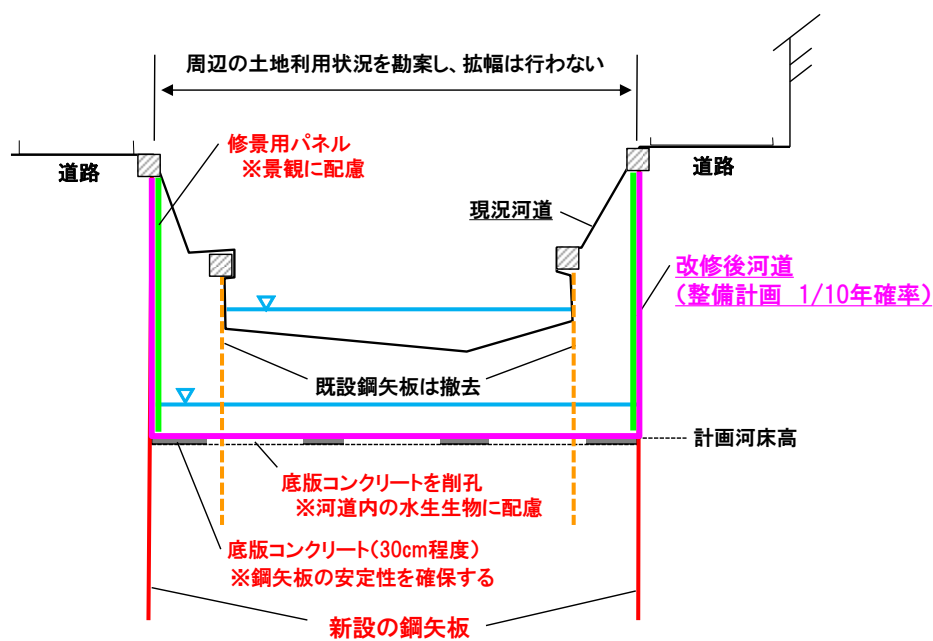
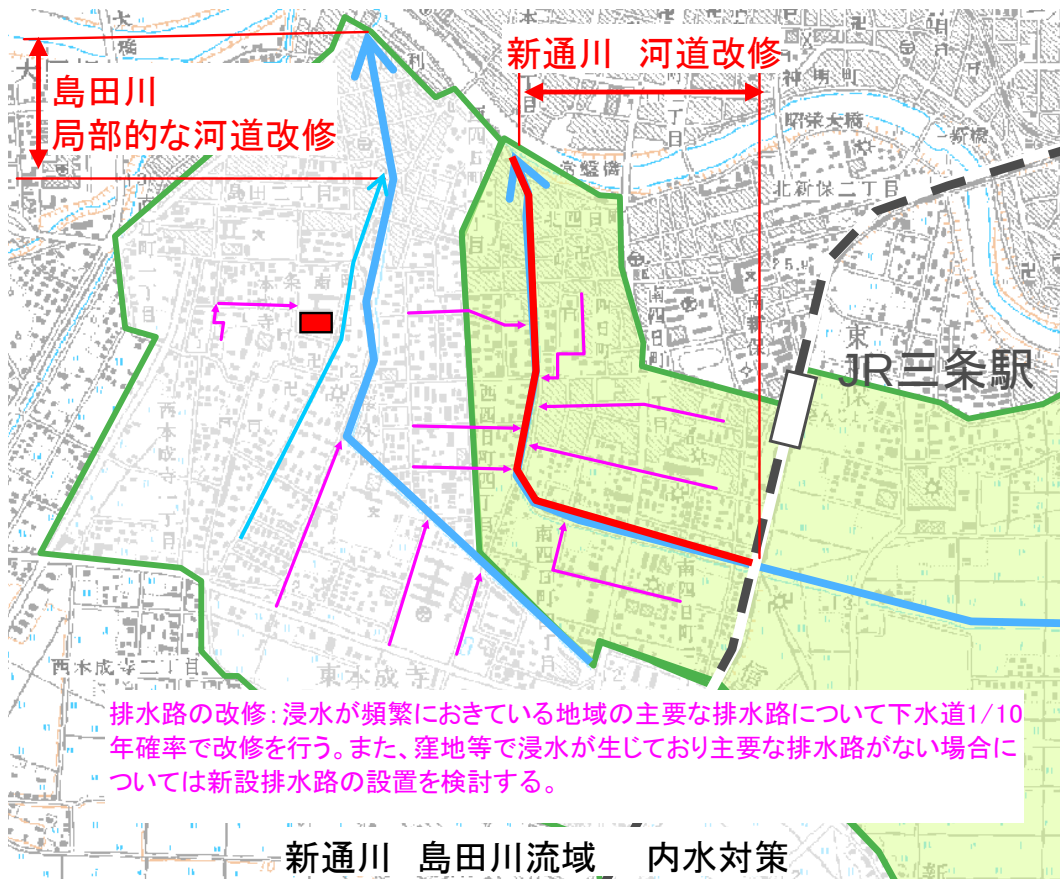
※カッコ内は、河川整備区間の現況河道の流下能力である。

新通川・島田川の河川整備計画では、10年に1回程度発生すると予測される規模（時間雨量34.5mm、24時間雨量154mm）の降雨に対して安全に流下できる改修を目標としています



新通川・島田川の浸水被害と河川整備計画

※2 五十嵐川の河川水位の状況や過去と雨の降り方が異なる場合等によっては内水被害が生じる可能性があります。



新通川河道改修計画横断形(概要図)

※横断形は、現地精査により変更する場合がある



ベトナムで学友が奉仕活動 — 児童養護施設に寄付 —

ベトナム・ホーチミン市で1月18日、米山学友が児童養護施設を訪問し、ベトナム出身学友22人から寄せられた寄付金で購入した米150kg、砂糖40kg、インスタントラーメン25箱を寄贈しました。また、第2750地区・東京日本橋RCベトナム交流会有志による絵本が併せて子どもたちに贈呈されました。

参加したチュオン・トゥイ・ランさん（2006-07／大宮北東RC）は、「海外在住のベトナム人学友も、一時帰国してミーティングに参加し、寄付をしてくれました。私たちの活動はまだ始まったばかりですが、これからも小さなことを集めて、大きなことにしていきたいです」と、活動への意欲を見せています。ベトナムにはまだ米山学友会はありませんが、ホーチミンでは「学友クラブ」を作って定期的に学友が集まり、少しずつ活動を開始しているほか、ハノイでも毎月1回、学友の集いが行われています。



ICT技術を使って子どもに夢を — 学友が総務大臣賞 —

「ビジネスモデル発見&発表会」全国大会が1月22日、東京都内で開催され、米山学友の董又碩（ドンウソク）さん（韓国／2012-14／能美RC）が代表をつとめるドリームパーロスが、キャンパス部門の最優秀賞である「総務大臣賞」を受賞し、高市早苗総務大臣から賞状が授与されました。



この大会はICTビジネス研究会、テレコムサービス協会が主催するもので、当日は、全国約130組の応募から選ばれた19組（キャンパス部門9作品、ビジネス部門10作品）がそれぞれのビジネスモデルを発表。董さんらは、ICT技術を使い、幼稚園・保育園で活用できるクラウド型連絡帳サービス「ゆめちょう」をプレゼンテーションし、審査員長から「導入実績もあり、安心安全信頼がテーマのしっかりしたビジネスプラン」と高い評価を得て、見事総務大臣賞に輝きました。董さんは昨年12月に北陸先端科学技術大学院大学で博士号を取得、今春の本格起業に向けて準備をしています。

表彰されたドンウソクさん（右から3人目）

次週例会 2月23日 通常例会 『RI創立記念日』 鈴木 武 パスト会長

次々週例会 3月2日 通常例会 『新会員卓話』 内藤 豊大 会員



能句
今週の

洋 司(坂本洋司君)

征 夫(丸山征夫君)

2008年新春作品

兼題 「初 鏡」

三條南ロータリークラブ週報

2015. 2. 9

No.2147 No.24